

2 データの活用

学習日 /

- 1 右の図のように、箱の中に1から6までの数字が1つずつ書かれたカードが6枚入っており、この箱の中からカードを取り出す。次の問いに答えなさい。ただし、どのカードが取り出されることも同様に確からしいとする。 〈長崎〉

1	2	3
4	5	6

- (1) カードを1枚取り出し、取り出したカードに書かれた数字を確認してもとに戻す操作を行う。次の①～④について、正しいものを1つ選び、その番号を書きなさい。
- ① この操作を5回行い、1の数字が書かれたカードを1回も取り出さなかったとき、もう1回この操作を行うと、必ず1の数字が書かれたカードを取り出す。
- ② この操作を60回行う。50回までに1の数字が書かれたカードを1回も取り出さなかったとき、その後の10回の操作では、1の数字が書かれたカードを取り出しやすくなる。
- ③ この操作を6000回行うと、1の数字が書かれたカードを取り出す回数はおおよそ1000回である。
- ④ この操作の回数にかかわらず、1の数字が書かれたカードを取り出した回数を操作した回数で割ると、つねに $\frac{1}{6}$ になる。

- (2) カードを同時に2枚取り出す操作を1回行うとき、次の文中の「ア」，「イ」に適当な数を入れ、文を完成させなさい。

「取り出した2枚のカードに書かれた数の和が3となる確率は「ア」であり、取り出した2枚のカードに書かれた数の和が「イ」となる確率は $\frac{1}{5}$ である。」

- 2 1から6までの目が出るさいころが1つある。このさいころを2回投げて、1回目に出た目の数を a ，2回目に出た目の数を b とするとき、次の問いに答えなさい。ただし、さいころは、どの目が出ることも同様に確からしいものとする。 〈宮城〉

- (1) $a+b=6$ が成り立つ確率を求めなさい。
- (2) $\frac{b+1}{a}$ の値が整数になる確率を求めなさい。

類題 秋田4(2)

- 3 A, B, C, Dの4人がプレゼントを一つずつ持ちより、交換会を開く。プレゼントはすべて異なるものとし、A, B, C, Dの4人が用意したプレゼントをそれぞれ a , b , c , d とする。交換の方法は、外見が同じギフト箱を4人分用意し、各箱にプレゼントを一つずつ入れたうえで、よく混ぜて4人に箱を一つずつ配り、4人は配られた箱の中のプレゼントを受け取る。交換の結果によっては自分が用意したプレゼントを受け取ることもある。次の問いに答えなさい。ただし、ギフト箱の配り方は、同様に確からしいものとする。 〈沖縄〉

- (1) プレゼントの受け取り方は全部で何通りあるか答えなさい。
- (2) Aさんが a ではないプレゼントを受け取る確率を求めなさい。

- (3) A, B, C, Dの4人全員が、自分で用意したプレゼントを受け取らない確率を求めなさい。